

各グループでの意見交換を受けて

各班で話し合ったことを踏まえて、山口先生からコメントを頂きました。



■今後の取組展開に向けて

- ・空間づくりのアイデアの中には、すぐにでも実現できそうなものもありました。
- ・今日出たアイデアをもとに、来年度は将来像実現のための「空間づくり社会実験」を展開していきます。

■場所の利活用のためのプロセスについて

- ・場所の利活用は、そこがどういう場所かで進め方が変わってきます。
- ・一例ですが、民有地や歩道であれば、地権者やお店で商売されている方との交渉・調整が重要ですが、車道であれば、それに加えて自動車の交通処理などの技術的検討も必要になってきます。

今回からの参加も大歓迎！

今後の予定

2022.2.6 日
15:00 START

会場：福祉文化会館 303号室

いばらきストリートデザインワークショップ

ステップアップミーティング開催

メインストリートの将来像の実現に向け、来年度以降、社会実験など様々な取組を進めていくため、プレイスメイキングの取組みや持続的な仕組みづくりを全国各地で実践している園田聡氏（有限会社ハートビートプラン）をお招きし、全国各地の事例をもとにお話しいただきます。



園田 聡 氏
有限会社ハートビートプラン

参加申込は
こちら



来年度以降の予定

今年度のワークショップで考えた空間づくりや取組のアイデアを踏まえ、令和4年度は中央通りや東西通りで“社会実験”を実施し、検証していきます。また、令和5年度にはメインストリートをデザインする指針をガイドラインとしてまとめ、環境整備を含めた様々な取組を推進していきます。



Facebookで情報発信しています

これまでの取組をFacebookページにてご紹介しています。また、ステップアップミーティングの詳細情報についても、今後情報発信をしていきますので、ぜひFacebookページをフォローしてください！右のQRコードを読み込むか、Facebookで「いばらきストリートデザインワークショップ」と検索してください。

ステップアップミーティングの
情報も随時更新予定です



次なる
茨木へ。

問い合わせ先 茨木市 都市整備部 都市政策課 まちづくり係
TEL:072-620-1660 FAX:072-620-1730 E-mail:toshi@city.ibaraki.lg.jp

いばらきストリートデザイン ワークショップ

ニュース #04

歩きやすく、歩きたくなるメインストリートへ！

いばらきストリートデザインワークショップとは

茨木市では、市の中心部を、より多くの人々が訪れ、滞在し、活動したくなるような“まちなか”にするための取組を進めています。2回のミーティング（勉強会）と3回のワークショップを通して、各拠点を結ぶ“メインストリート”である中央通りと東西通りを、より魅力的な通りにするためのアイデアなどを参加者の皆さんと一緒に考えていきます。



歩きたくなるメインストリートに向けて、取組や空間活用のアイデアを話し合いました！

開催概要 テーマ③「通りの“コセイ”を引き出そう！」

山口先生からの
レクチャーの
ポイント

12月19日（日）14時から、第3回目のワークショップを開催しました。「通りの“コセイ”を引き出そう！」をテーマに、歩きたいと思う中央通りや東西通りにしていくための取組や空間活用のアイデアを、模型を使いながら話し合いました。

■通りを歩きたくなる空間にしていくためのポイント

- ・最初から通り全体をガラリと変えてしまうことを考える必要はありません。
- ・通りの中の1つのスポットを魅力的な空間に変えることができれば、はじめは小さな場所だったとしても、いずれはそれが全体に広がっていきます。
- ・誰かのための空間づくりを考えることも大事ですが、『自分が』そこにいたい、何かやりたいと思えるような空間を考えることから始めてみてはどうでしょうか。



山口 敬太 准教授
京都大学大学院工学研究科

当日のグループワークの内容

前回のワークショップで考えた「歩きたくなる通りの将来像（大事にしたいキーワード）」をもとに、具体的にどういふ場所でどのような空間づくりができるか、模型作りを通して考えました。

■グループワーク① モデルスポットを選ぼう！

今後、通りの将来像を具体化していくにあたり、これまでのまち歩きなどで捉えた通りの特性などを踏まえて、各グループで2～3か所のモデルスポットを選びました。



■グループワーク② 将来像を実現する空間づくりを考えよう！

モデルスポットにおいて、歩きたくなる通りの将来像を実現するための空間の設えや、人々の活動、滞在の仕方などを考え、それを模型にして具体化しました。

【モデルスポットの模型】



道路の平面図に、沿道の写真を組み合わせた簡易模型を作りました。植栽やベンチ、椅子、屋台、バナー広告等のツールを配置したり、道路上に大胆に芝生を張ってみるなどして、魅力的な空間づくりを行いました。

歩きたくなるストリートってどんな空間？

歩きたくなるストリートをイメージし、どのような場所でどのような取組や空間づくりを進めていきたいかについて4つのグループで話し合った内容をまとめました。



どういった場所を使いたい、活用できそうな場所はどこかを話し合い、モデルスポットを抽出しました。



抽出したモデルスポットの模型を使って、具体的な空間づくりを考えました。

多世代が集える”にぎわいストリート”

店舗が集積している場所で、側道を使って賑わい空間を作りたい

ウッドデッキを設置し、車いすやベビーカーが移動しやすい設えにする



歩道にもテーブルやベンチなどを設置し、自転車を押して通過するように促す

側道に芝生を敷いて人々がお店で買ったものを食べたり、くつろいだりできるようにする

賑わうエリアに”ふらっと”立ち寄れるスポット

色んな人が集える場所が通りの中にあると良い

周辺のお店でテイクアウトしたものを食べられるようにベンチやテーブルなどを設置する



通り沿いの場所を滞在できる空間にする

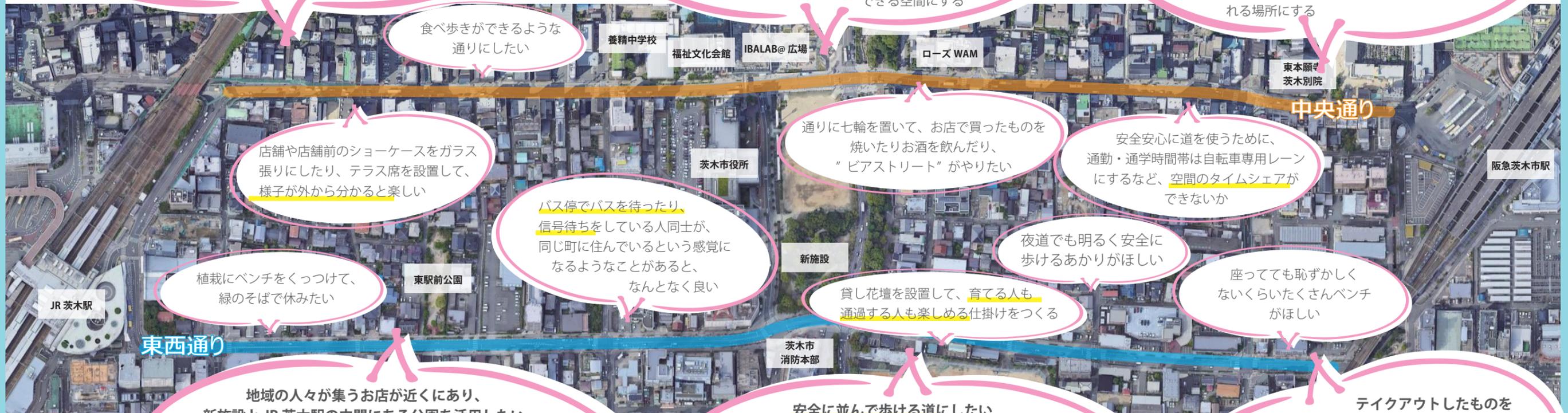
”自然に触れて憩える”ストリート

通りの中に緑や水辺を感じられる場所がほしい

既に緑がある空間の近くに、緑空間をつくり、一体的な緑の空間をつくる



水辺や足湯をつくったり、お店や家の前では、打ち水をしたりして、水を感じられる場所にする



食べ歩きができるような通りにしたい

店舗や店舗前のショーケースをガラス張りにしたり、テラス席を設置して、様子が外から分かると楽しい

植栽にベンチをくっつけて、緑のそばで休みたい

バス停でバスを待ったり、信号待ちをしている人同士が、同じ町に住んでいるという感覚になるようなことがあると、なんとなく良い

通りに七輪を置いて、お店で買ったものを焼いたりお酒を飲んだり、”ピアストリート”がやりたい

安全安心に道を使うために、通勤・通学時間帯は自転車専用レーンにするなど、空間のタイムシェアができないか

夜道でも明るく安全に歩けるあかりがほしい

座ってても恥ずかしくないくらいたくさんベンチがほしい

地域の人々が集うお店が近くにあり、新施設とJR茨木駅の間にある公園を活用したい



公園入口の植栽帯を撤去してウェルカムな雰囲気をつくる
公園内にベンチを設置し、キッチンカーなど飲食系の営業をしてもらい、ふらっと立ち寄れる場所にする

目的地間で”ふらっと”立ち寄れる広場

安全に並んで歩ける道にしたい



沿道にある空地や駐車場などを活用し、歩ける幅を増やす

芝生を設置して憩えるようにしたり、キッチンカーや屋台を置いて誰かと歩きたくなるような通りにする

安心して”並んで歩ける”ストリート

テイクアウトしたものを食べる場所がほしい

最近、通りにおしゃれなスイーツの店が増えてきている。さらにキッチンカーを呼ぶなどしスイーツ通りのようにできないか

食後の休憩ができるハンモックを設置する

”会話もスイーツも楽しむ”ストリート

紙面に載せきれないたくさんの空間づくりのアイデアが生まれました



今回のワークショップで出たアイデア等を踏まえて、次年度に実施する社会実験の内容を検討していきますが、関係機関協議等により、実施場所や内容が変更になる可能性があります。